

## 2022年度・春の拡大月間総括案

### 1. とりくみ結果

#### (1) 分会別の成果

分会	町中	学成	南	本野	忠生	忠中	鶴川	緑	事G	合計
目標	6	9	9	9	8	6	15	6	-	91
成果	★7	★9	5	★11	3	★6	★18	1	31	★91

#### (2) 各種指標

##### ①町田支部

- ・月間成果＝91人〔昨年度：60人〕
- ・月間拡大率＝3.52%〔昨年度：2.22%〕
- ・月間目標（3.5%）達成分会＝5分会〔昨年度：2分会（町田中央、忠生中央）〕

##### ②東京土建全体

- ・月間成果＝4,270人〔昨年度：4,283人〕
- ・月間拡大率＝3.82%〔昨年度：3.80%〕
- ・月間目標（3.5%）達成支部＝30支部〔昨年度：27支部〕

#### (3) 新加入者（91人）の特徴

年度始めということもあり、厚生年金適用の新入社員の加入が46人と、成果の半数を占めました。昨年度の28人と比べて大幅に増加したことが、目標達成の大きな要因となりました。また、一人親方労災保険の加入を理由とする加入も、多くありました。

##### ①加入理由（複数回答可）

理由	土建 国保	厚生 年金	労働 保険	仲間の つながり	共済	資格 取得	税金 相談	頼りに なる
人数	57	46	39	11	6	3	2	1
割合	62.6%	50.5%	42.9%	12.1%	6.6%	3.3%	2.2%	1.1%

##### ②年代

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	平均
人数	6	39	17	17	9	2	1	33.7歳
割合	6.6%	42.9%	18.7%	18.7%	9.9%	2.2%	1.1%	

##### ③職種

職種	塗装	とび	給排水	土木	内装	造園	外構
人数	19	14	14	9	7	5	5
割合	20.8%	15.4%	15.4%	9.9%	7.7%	5.5%	5.5%
職種	電気	大工	型枠	防水	屋根	鉄筋	通信
人数	5	4	3	2	2	1	1
割合	5.5%	4.4%	3.3%	2.2%	2.2%	1.1%	1.1%

## (4) 行動の特徴

### ①訪問・対話を重視

過去2年間、十分な対話行動がおこなえなかった反省から、今年度は訪問・対話を重点に、「月間中に8日間以上の訪問行動」「訪問行動に5人以上の参加者を集める」ことを方針としました。対話材料には、新入学祝金やインボイス制度学習会といった制度や行事説明の「メッセージカード」を用意し、不在の際も訪問履歴を残すことで、次につながるよう工夫をしました。

### ②分会の特徴的な行動

町田中央分会は、ビーバープロ町田木曽店で2回にわたり宣伝行動を実施し、来店した建設業者に拡大グッズを配布して、東京土建をアピールしました。本町野金分会と鶴川分会は「拡大決起BBQ」を開催し、仲間の結束をはかりました。学園成瀬分会と忠生分会では「新加入者訪問」を月間中におこない、その新加入者からの紹介を成果につなげることができました。

### ③3年ぶりに外会場で中間決起集会を開催

5月8日（日）に「中間決起集会」を、町田市文化交流センターで開催しました。

桑名部長による「月間前半の経過と後半の重点」についての報告の後、各分会から経験報告と決意表明をしてもらい、目標達成に向けた決意を固めました。

なお、この日までに提起した成果の持ち寄りは、本町野金分会と忠生分会より1人ずつありました。

## 2. 前進面と課題

訪問行動を重点的に実施した春の拡大月間では、全分会で251件の訪問行動を実施し、多くの組合員との対話ができました。また、対話の中から未加入者情報の聞き取りをおこない、加入に結びつけることもできました。

訪問行動の参加に「5人以上」の目標を設定することで、仲間への声かけの意識が高まり、行動参加者の底上げになりました。仲間が集まることで新しいアイデアも生まれ、分会の独自行動が活発にとりくまれたことも、特徴的でした。

3年ぶりに「原点回帰」ともいえる上記の拡大行動を進めたことで、月間目標を達成できたことは、大きな自信につながりました。

一方で、参加者の固定化を課題に挙げる分会が多くありました。一部の役員への負担集中は、運動の持続性を損なうことから、早期に対策が必要です。BBQや暑気払いなど、気軽に参加できるイベントのお誘いから、意識的に新しい仲間との顔つなぎを進めていきましょう。今年度より新設の「D○サポ」も活用し、分会行事への若手組合員の参加を促進していきましょう。

あらためまして、2か月間の皆様のご奮闘に感謝申し上げます。